

SERIES

環境 ENVIRONMENT

みんなが優しくすまむち

うるおい 環境都市むこう

ごみの適正処理を推進するために  
ごみの分別を見直してみよう



ごみの中には、資源として再生利用することのできるものが多く含まれています。しかし資源の回収ルートにのせないと再生利用されません。分別すれば燃えるごみを減らせますので、きちんと分別収集のルールを守りましょう。

資源化物

■分別収集に出すもの

- 空缶 ●空びん ●ペットボトル
- その他不燃物 (電球、陶器類、やかん、鍋など)
- その他プラスチック (レジ袋、ポリ袋・ラップ類、玉子・味噌などのパック類、油・ドレッシングのボトル類など)
- 蛍光灯 ●筒型乾電池

■地域集団回収や廃品回収に出すもの

新聞紙、雑誌、ダンボール、チラシ、包装紙など

■市の回収や店頭回収などに出すもの

ペットボトル・白色食品トレイ・紙パック

燃えるごみ

■もえるごみは台所のごみ、生花、革製品、ティッシュやキッチンペーパーなどの紙くず以外は入れないようにしましょう。

■調理中に出るごみを減らし、作りすぎによる食べ残しを避けましょう。

■ティッシュやキッチンペーパーは、おしぼりを代用してみよう。何枚か用意して汚れたら洗濯し、再度使おう。

■台所ごみは、水分をよくきりましょう。軽くなり臭いも減ります。

お問い合わせ 環境政策課環境対策係(内線232)

健康 HEALTH

平成13年～18年向日市保健計画—成人編④  
自立支援と介護予防

■元気で生き生き暮らすために■

病気やケガなどをきっかけに家の中に閉じこもりがちになることにより、からだを動かす機会が減り寝たきりになることがあります。また、脳卒中やその他の病気が再発したり悪化することによって、寝たきりになることもあります。

高齢になっても、障害をもつことになっても、いつまでも積極的に生き生きとした人生をおくるためには、充実した日常生活と寝たきりの原因となる状態をつくらぬこと(介護予防)が大切です。

■家に閉じこもらないこと■

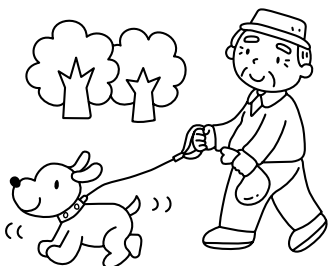
本市で実施している訪問指導事業で関わっている65歳以上の市民85人を対象に、外出

の程度について調査した結果、全体の約15%にあたる人達が、通院以外にほとんど外出せず、閉じこもり傾向にあることがわかりました。閉じこもり傾向をみると、転居、体力低下、趣味活動が続けられなくなったことが主な要因となっていることがわかりました。

■高齢者や障害者の方々を支える地域づくり■

虚弱な高齢者や障害を持つ方々が自立して生き生きと生活するためには、ニーズにあった保健・医療・福祉サービス等と身近な地域の支援が必要となります。

本市では、保健センター、老人福祉センター、公民館などを拠点に地域リハビリ教室を行なっています。今後も、こうした活動をさらに充実させ、市民一人ひとりがいつまでも地域とのつながりを持ち続けられるような地域づくりを目指した支援活動に取り組んでいきます。



お問い合わせ 健康管理課(内線333、338、339、357)

BOOKS

BOOKS INFORMATION  
新着図書のご案内

PICK UP

【児童図書】



「ぶたのチェリーのおはなし」

チェリーの いちばんの たのしみは、おひるごはんの あとでおかしをつくることです。あるひ チェリーは、ねずみの かぞくが、「これは すごい」というのを きいて、おかしコンテストに でることになりました。

やまだうたこ・文・絵  
偕成社

一般図書

- 元気で、17歳。 井上美由紀著 ポプラ社
- ぶら下がり役職者を退場させるレッドカード71枚 池田勝志著 出版文化社
- 人形劇・手品・バラエティーショー 小学館
- 医療・看護・福祉のためのデス・エデュケーション入門 浅田高世著 柏木哲夫監修 メディカ出版
- お金を3倍に生かすアメリカの知恵 アントラム栢木利美著 大和出版
- 毛糸ひと玉で作れるかわいい小物 世界文化社
- 赤ちゃん語がわかる魔法の育児書(2-1、2-2) トレイシー・ホッグ著 イースト・プレス
- 交通事故の知識とQ&A 高橋勝徳著 法学書院
- 思うとおりに歩めばいいのよ ターシャ・テューダー文 メディアファクトリー
- 幽霊温泉 赤川次郎著 文芸春秋
- たそがれ清兵衛 藤沢周平著 新潮社
- 道づれは好奇心 沢地久枝著 講談社

児童図書

- 日本の文化 村井康彦著 岩波書店
- 世界の環境都市を行く 井上智彦、須田昭久編 岩波書店
- サッカー 田嶋幸三監修 ポプラ社
- さらわれる 岩瀬成子作 BL出版
- アウレンシア大陸記 後藤耕作 ポプラ社
- 洲本八だぬきものがたり 木戸内福美文 アリス館
- はれときどきたこ 矢玉四郎作 岩崎書店
- 雪にきえた足あと ルーシー・J・ブレドソー作 文研出版
- どっちーぬくん あきやまただし作・絵 鈴木出版
- パイがいっぱい 和田誠著 文化出版局
- ポリボン マレーク・ペロニカ文・絵 福音館書店
- 花のうた シャンナ・オーテルダール文 エルサ・ベスコフ絵 文化出版局

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

MUKO CITY 30th ANNIVERSARY

次代へつなぐ30周年事業

～市制施行30周年から未来へ～

市制施行30周年にあたる本年は、人やまち、地域、時代とのつながりが深まっていくよう、「つなぐ」をテーマに各種記念事業を実施してきました。これらの事業が一過性のイベントとして終わるのではなく、向日市の将来につながっていくような事業となるよう、今後も取り組みを進めます。

記念事業にご参加・ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

○「市民健康づくりの日」の推進

市制施行30周年を機に5月最終水曜日を「市民健康づくりの日」とするとともに、5月を「市民健康づくり推進月間」と定めました。この取組を推進

していくため、来年度は市民健康づくりの日にあたる15年5月28日(水)に「チャレンジデー2003」に参加するなど、市民のみなさんが自主的に健康づくりに取り組んでいただけるよう、支援・啓発に努めていきます。

○「チャレンジデー2003」に参加します!

市制施行30周年の今年、「チャレンジデー2002」に初参加し、北海道滝川市と15分間以上の運動やスポーツを行った市民の参加率を競いました。残念ながら滝川市に敗れましたが、平日にもかかわらず多くのみなさんに健康づくりに取り組んでいただきました。チャレンジデーを通じて人と人との

つながりが深まり、健康の輪が広がっていくよう、向日市は引き続き15年5月28日(水)に開催されます「チャレンジデー2003」に参加します。多数のご参加をお願いします。

○「人材ほっとバンク」の運用開始

市民のみなさんの生涯学習活動を支援していくとともに、生涯学習を通じて人と人とのつながりが深まっていくよう、「人材ほっとバンク」の運用を15年4月から開始します。

※現在、人材バンクに登録していただく様々な分野で活動されている人材を募集しています。